

北海道高等学校教育研究集会

第39回大会案内

期日	平成14年1月9日(水)・10日(木)
主催	北海道高等学校教育研究会
後援	北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会

第39回研究大会に向けて

北海道高等学校教育研究会
会長 島 隆

例年より早い紅葉と初雪の便りが届き、北国の季節の変化に慣れている私達も流石に驚きを感じている今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、本研究会は活動計画にそって着実に各事業への取り組みを進めてまいりまして、この度、第39回研究大会のご案内を差し上げることになりました。各部会とも充実した内容での開催となっております。これまでの関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

この研究大会は、日々教育に携わっている関係者が一堂に会して、北海道教育の今日的な課題について視野を広め、日頃の実践や研究の成果を交流し、新たな視点と意欲を高め、高校教育の一層の充実を図る研究会として、全国的にもまれですが長年にわたり開催されており、その成果は確実に教育に活かされていると高く評価しております。

今年度も、研究主題「時代の変化に対応する高等学校教育の創造」のもとに、第1日目の全体集会と第2日目の教科別集会という日程により開催することになっております。

教育改革国民会議「21世紀教育新生プラン」、中央教育審議会の5分科会の答申や協議から目が離せない状況にあって、各地域の特色を生かした教育改革の協議が深められ、改革の具体策や方向性が見えてくることが多くなりました。

また、地域の実態に応じた取り組みの推進を積極的に行っている就職問題、大学入試センター試験での5教科7科目受験の平成16年度実施への対応問題、来年度からの完全学校5日制実施と平成15年度から実施の新学習指導要領にある「総合的な学習の時間」や「情報」の扱い等の教育課程編成問題、学校危機への対応など学校を取り巻く多くの今日的な課題が山積みの状態です。

この様な時流にあって、時代や社会の変化を踏まえ、そのなかで問題を一つ一つ解決し、如何にして魅力ある高校教育をどう創造するかは急務であります。この大会がそのための広い視野を得る研究大会であることを願っております。

第1日目の全体講演は、会報でもお知らせしたとおり、共立女子大学学長、元一橋大学学長で、小樽商科大学でも12年間教鞭を取っておられた北海道に縁の深い阿部 謙也先生に「日本社会の構造と教育」と題してお話をいただきます。熱い血のかよった人間が織りなす「世間」を社会学者の目で鋭く分析し、日本人は今後どうあるべきかなど、時代や人間そして教育を考えるうえで日頃あまり聞くことのできない貴重なお話を伺う機会になると思います。

第2日目の教科部会では、日頃の指導を一層充実させるための講演や研究発表と研究協議が予定されております。目前の新学習指導要領の実施に向けた教育内容や教育方法の研究を含めて、新たな視点と意欲を得る絶好の機会となるものと思いますので、多くの方々の積極的なご参加を心から期待しております。

研究主題

「時代の変化に対応する高等学校教育の創造」

第1日目 全体集会 平成14年1月9日(水)

場所 北海道厚生年金会館（札幌市中央区北1条西12丁目 TEL 011-231-9551）
日程 11:30～12:45 受付
12:45～13:30 開会式
13:30～15:30 講演

演題

『日本社会の構造と教育』

講師 共立女子大学学長
阿部謹也氏



「ハーメルンの笛吹き男」「中世の窓から」「中世を旅する人びと」などの名著で知られる西洋社会史の大家。学問対象の領域を広げ、独自の視点から分析していくスタンスは、学問研究とは決して象牙の塔のみで行われるものではなく、熱い血のかよった人間の手によって行われるべきとの示唆に富む。

略歴

1935年	東京に生まれる	1993年10月	大学審議会特別委員
1958年3月	一橋大学経済学部卒業	1995年5月	財団法人大学基準協会副会長
1963年3月	一橋大学院社会学研究科修了	1995年6月	国立大学協会副会長
1964年8月	小樽商科大学講師	1995年9月	文化功労者審査会委員（1996年8月まで）
1966年10月	同 助教授	1996年2月	学術審議会委員（2000年2月まで）
1973年10月	同 教授（1976年3月まで）	1997年11月	国立大学協会会长（1998年11月まで）
1976年4月	東京経済大学教授（1979年3月まで）	1998年11月	一橋大学退官
1979年4月	一橋大学社会学部教授	1998年11月	一橋大学名誉教授
1985年4月	一橋大学評議員	1999年4月	共立女子大学長（現在に至る）
1987年4月	一橋大学社会学部長（1989年3月まで）		学校法人共立女子学園理事・評議員
1989年11月	国立歴史民俗博物館教授		（現在に至る）
1992年12月	一橋大学長（2期・1998年11月まで）	2000年4月	共立女子短期大学長（現在に至る）

主な著書

1974年	ドイツ中世後期の世界—ドイツ騎士修道会史の研究（未来社）
1974年	ハーメルンの笛吹き男—伝説とその世界（平凡社・ちくま文庫）
1978年	中世を旅する人びと—ヨーロッパ庶民生活点描（平凡社）
1978年	刑吏の社会史—中世ヨーロッパの庶民生活（中央公論社）
1981年	中世の窓から（朝日新聞社）
1985年	歴史と叙述—社会史への道（人文書院）
1987年	甦る中世ヨーロッパ（日本エディタースクール出版部）
1988年	自分のなかに歴史を読む（筑摩書房）
1992年	西洋中世の愛と人格—「世間」論序説（朝日新聞社）
1993年	読書の軌跡（筑摩書房）
1995年	〈世間〉とは何か（講談社）
1997年	〈教養〉とは何か（講談社）
1999年	日本社会で生きるということ（朝日新聞社）
1999年	大学論（日本エディタースクール出版）
1999年～2000年	阿部謹也著作集—全10巻（筑摩書房）
2001年	日本人はいかに生きるべきか（朝日新聞社）

第2日目 教科別集会 平成14年1月10日(木)

教科	主　題	日 程										会 場 名	
		9:00 30	10:00 30	11:00 30	12:00 30	13:00 30	14:00 30	15:00 30					
国語	21世紀、今こそ見つめよう、日本の言語文化ー伝え合う力を高め、心情を豊かにする国語教育を目指してー	受付	開会式	講演 桜美林大学教授 小林 一仁 氏	昼食	研究発表	研究討議	15:15 閉会式	札幌市生涯学習総合センター				
地歴 公民	生徒の主体性を引き出す授業の創造	受付	開会式・総会	講演 (世界史) 北海道教育大学札幌校教授 夏井 春喜 氏 (日本史) 筑波大学歴史人類学系助教授 浪川 健治 氏 (地理) 旅行作家・札幌国際大学教授 松田 忠徳 氏 「日本人と温泉」 (現代社会) 庄司経営開発事務所中小企業診断士 庄司 俊雄 氏 (政治経済) 早稲田大学政治経済学部教授 谷藤 悅史 氏 (倫理) 北海道大学医学研究科機能分子学分野教授 潤口 俊之 氏	昼食	各科目分科会 (研究発表・研究討議)		閉会式	札幌等稲北校				
数学	基礎・基本の定着を図り、創造力を養い活用する能力を育てる数学教育	受付	開会式総式会	講演 東京学芸大学名誉教授 早稲田大学教育学部教授 杉山 吉茂 氏	昼食 (休憩)	研究協議		閉会式	札幌市北区民センター				
理科	物理 これからの物理教育はどうあるべきか 化学 これからの化学教育はどうあるべきか 生物 これからの生物教育はどうあるべきか 地学 これからの地学教育はどうあるべきか 総合理科 環境教育の効果的指導はどうあるべきか	受付	9:20 開総会式会	全体講演 国立科学博物館人類研究部部長 馬場 悠男 氏	昼食	(物理) 北海道大学触媒化学研究センター教授 市川 勝 氏 (化学) 北海道大学大学院工学研究科教授 德田 昌生 氏 (生物) 国立科学博物館人類研究部部長 馬場 悠男 氏 (地学) 北海道大学低温科学研究所寒冷陸域学部門助手 西村 浩一 氏 (総合理科) 北海道大学大学院地球環境科学研究科教授 西 則雄 氏	14:20 研究発表・研究協議	15:20 閉会式	札幌等平岸校				
保体	21世紀の保健体育のあり方	受付	開会式	講演 日本体育大学教授 森田淳悟 氏	研究発表室	昼食	研究発表 研究協議	閉会式	札幌南高等学校				
養護	養護教諭の専門性と教育活動		受付 開会式	講演 大阪人間科学大学人間科学部教授 服部祥子 氏	総会	昼食	情報提供	研究討議	閉会式	北方圏センター会議室			
芸術	21世紀の芸術教育		受付 開会式	講演 道都大学教授 倉本龍彦 氏		昼食	分科会Ⅰ 研究発表	分科会Ⅱ 研究協議	部閉会式会	札幌南高等学校			
英語	21世紀における地球市民を育む英語教育ー実践的コミュニケーションの育成を目指してー	受付	開総会式会	基調講演 明海大学教授 山岸勝榮 氏	昼食	模擬授業 (参加型)	分科会 (研究協議)	閉会式	札幌厚別校				
家庭	自立した生活者を育てる家庭科教育		9:20 受付 開総会式会	講演 作家 小樽山 博 氏	昼食 休憩	研修報告 パネルディスカッション		15:15 閉会式	札幌市民会館				
農業	新しい時代に向かっての農業教育の使命の再発見と推進はいかにあるべきか	受付	開会式	講演 針塚農産代表 針塚 藤重 氏	連絡	昼食	研究協議	閉会式	札幌市民会館				
工業	時代の変化に対応する工業教育の創造と実践	受付	開部会式会	講演 カインドネス オブ マネジメント ブレーン 主宰 山崎 道弘 氏 講演 株式会社 農業・経営に「命の甘さと恵みが…今、思えば！ 教室は通達業ではなく、育業」では断じない。	昼食 (休憩)	研究発表・研究討議		閉会式	札幌琴似工業校				
商業	新時代に求められるビジネス教育ー学校そして人づくりー	受付	開会式	総会 講演 北海銀行 頭取 高向 巍 氏	休憩 (昼食)	研究協議		閉会式	札幌啓北商業校				
水産	新世紀のふるさとをきり拓く水産教育はいかにあるべきか	受付 (事前打合せ)	開会式	講演 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 落合 敏邦 氏	研修報告 昼食 (休憩)	研修報告 研究発表 研究討議	講評	部会式 閉会式	小樽等水産校				

第2日目 平成14年1月10日(木) 教科別集会会場

教科	会 場 名	所 在 地 (電話番号)	交 通 機 関
国語	札幌市生涯学習総合センター	札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 ☎011-671-2200	地下鉄東西線「宮の沢」駅下車連絡通路徒歩5分
地歴公民	札幌稲北高等学校	札幌市手稲区手稲山口254番地 ☎011-694-5033	①JR「手稲駅」北口からJRバス83番(8時25分発) 「稲西高校」行に乗車し「稲北高校前」(8時34分)で下車。 ②JR「手稲駅」北口からJRバス臨時便(8時45分発)「稲北高校」行(3台)に乗車し「稲北高校」(8時55分)で下車。
数学	札幌市民センター	札幌市北区北25条西6丁目1-1 ☎011-757-3511	地下鉄南北線北24条駅から徒歩7分
理科	札幌平岸高等学校	札幌市豊平区平岸5条18丁目 ☎011-812-2010	地下鉄南北線「澄川駅」下車徒歩15分
保体	札幌南高等学校	札幌市中央区南18条西6丁目 ☎011-521-2311	地下鉄南北線「幌平橋」下車徒歩5分、市電「すすきの」から乗車「静修学園前」下車徒歩5分
養護	北方圏センター	札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館12F ☎011-221-7840	JR札幌駅から徒歩10分 地下鉄札幌駅から徒歩7分
芸術	札幌南高等学校	札幌市中央区南18条西6丁目 ☎011-521-2311	地下鉄南北線「幌平橋」下車徒歩5分、市電「すすきの」から乗車「静修学園前」下車徒歩5分
英語	札幌厚別高等学校	札幌市厚別区厚別町山本750-15 ☎011-892-7661	①地下鉄東西線新さっぽろ駅またはひばりが丘駅からバス(白27番)山本線厚別高前下車 ②地下鉄東西線新さっぽろ駅からバス(白38番)厚別線厚別高前下車 ③地下鉄東西線南郷7丁目駅からバス(白25番)北都線厚別西2条1丁目下車 ④JR函館本線厚別駅下車徒歩20分
家庭	札幌市民会館	札幌市中央区北1条西1丁目 ☎011-241-9171	地下鉄「南北線」「東西線」「東豊線」の大通駅下車徒歩5分
農業	札幌市民会館	札幌市中央区北1条西1丁目 ☎011-241-9171	地下鉄「南北線」「東西線」「東豊線」の大通駅下車徒歩5分
工業	札幌琴似工業高等学校	札幌市西区発寒13条11丁目3番1号 ☎011-661-3251	①地下鉄東西線宮の沢駅JRバス「43・47・49・73・79番」乗車8分、琴似工業高校前下車、徒歩2分 市営バス「琴似発寒線西40番」乗車8分、琴似工業高校前下車、徒歩2分 ②地下鉄南北線北34条駅市営バス「新道西線66番」琴似工業高校前下車、徒歩2分 ③JR発寒駅徒歩15分 ④JR発寒中央駅徒歩20分
商業	札幌啓北商業高等学校	札幌市南区石山1条2丁目15-1 ☎011-591-2021	地下鉄「南北線」真駒内駅下車、市バス又は定鉄バス乗換え〔石山2の2〕下車徒歩5分、定鉄バスは札幌駅乗車8番から同上のバス停下車。 ※上記ほか当日真駒内駅より臨時直行便運行
水産	小樽水産高等学校	小樽市若竹町9番1号 ☎0134-23-0670	JR小樽築港駅下車徒歩5分。 JR小樽より中央バス(桜町・新光町行)乗車、JR小樽築港駅前駅下車徒歩5分

※各会場ともに冬期は特に駐車場はありませんので、自家用車はご遠慮ください。

高教研本部事務局 ☎064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18 札幌旭丘高等学校内 電話 011-513-2238

◎大会参加申込

- ・大会参加を希望する方は、会員は参加料2,000円、非会員は3,500円をそえて、校長または、所属長に12月1日(土)までに申し出てください。
- ・「大会参加証」は、後日校長または、所属長にお送りしますのでお受け取り下さい。
この参加証は、研究大会第1日目の全体集会受付で「大会要項」と引換えとなりますので、大切に保管下さい。

◎大会受付

参加証のうちの「全体集会：資料引換券」を切り取って、全体集会会場受付（一部教科毎）に提出し、大会要項を受領下さい。